

専門医筆記試験出題問題 (第10回より抜粋)

1 経静脈的高カロリー輸液について正しいのはどれか。

- a 経腸栄養より優先されるべきである。
- b 手術後には nonprotein Cal/N 比150前後が望まれる。
- c bacterial translocation の予防になる。
- d 投与可能であれば、カロリーは高ければ高い方がよい。
- e 脂肪肝から重篤なアシドーシスを合併する。

2 誤っている組合せはどれか。

- a チロシンキナーゼ——増殖因子受容体
- b オプソニン——補体
- c チトクロム C——活性酸素
- d IL-8——好中球遊走
- e Ig-E——GALT (gut associated lymphoid tissue)

3 HIV 感染について正しいのはどれか。

- (1) 医療従事者の感染経路には経皮ルートが多い。
- (2) 注射針刺し事故をなくするため「リキャップ」を奨励する。
- (3) 針刺し事故による感染成立の確率を比較すると HIV>HBV である。
- (4) 針刺し部位より体液をしばらく出し流水で洗浄する。
- (5) 事故から1時間以内に常備内服薬 AZT (レトロビル®) などの投与を開始する。
  - a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)
  - c (1), (4), (5)    d (2), (3), (4)
  - e (3), (4), (5)

4 63歳の女性。生来健康であった。1か月前より左腰背部に鈍痛を自覚し、4日前より心窩部膨満感があって来院した。腹部エコー、腹部エックス線 CT 検査にて膵頭部癌と診断し、上部消化管造影検査にて十二指腸水平脚に狭窄像を認めた。入院後、絶食の上、中心静脈栄養を施行した。入院後7日目に ERCP を施行した。その6時間後より気分不良を訴え、上肢の振戦が認められた。

その時の検査所見：血糖値 614mg/dl, Na 152mEq/l, K 4.9mEq/l

尿検査：糖 (+++), ケトン (-)

動脈血ガス分析：PaO<sub>2</sub> 92mmHg, PaCO<sub>2</sub> 35 mmHg, pH 7.33, HCO<sub>3</sub> 20mEq/l, BE-5mEq/l

治療法として正しいのはどれか。

- (1) 等張生理食塩水を投与する。
- (2) 即効性インスリンを使用する。
- (3) 低カリウム血症に注意する。
- (4) 最初の1時間以内で3リットルの輸液を投与する。
- (5) 7%炭酸水素 Na 液を投与する。
  - a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)
  - d (3), (4)    e (4), (5)

5 食道解剖学で正しいのはどれか。

- a 右反回神経は大動脈弓を反回する。
- b 食道は気管左側寄りから左主気管支後面を走行する。
- c 胸部下部食道は大動脈の右側に沿って走行する。
- d 食道は左右一対の食道固有動脈により栄養される。
- e 日本人の平均食道長は約40cm である。

6 逆流性食道炎で誤っているのはどれか。

- a 胃食道逆流の主要な因子は、一過性 LES 弛緩 (transient LES relaxation) である。
- b 内視鏡分類にロサンゼルス分類がある。
- c 逆流の定量的測定には24時間 pH 測定がある。
- d 治療の第一選択は proton pump inhibitor (PPI) 投与である。
- e 腹腔鏡下手術として Heller 法がある。

7 食道癌のリンパ節転移について誤っているのはどれか。

- (1) 胸部下部食道癌では上縦隔リンパ節郭清が必要である。
- (2) 胸部中部食道癌では腹部リンパ節転移が高頻度に認められる。
- (3) 左反回神経沿リンパ節の郭清は省略し得る。
- (4) 食道表在癌のリンパ節転移は腫瘍近傍に多い。
- (5) 初発リンパ節転移は腫瘍近傍に多い。
  - a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)

- c (1), (4), (5)    d (2), (3), (4)  
e (3), (4), (5)

8 誤っている組合せはどれか。

- a Zollinger-Ellison 症候群——セクレチンテスト  
b Cushing 潰瘍————重度熱傷  
c WDHA 症候群————低酸症  
d 輸入脚症候群————胆汁性嘔吐  
e 後期ダンピング症候群——低血糖

9 多発性胃癌について正しいのはどれか。

- (1) 早期胃癌中の頻度は10~20%である。  
(2) 治療としては胃全摘術が必要である。  
(3) 未分化型が多い。  
(4) 高齢、女性に多い。  
(5) AM 領域に好発する。

- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)  
d (3), (4)    e (4), (5)

10 胃切除術後障害について誤っているのはどれか。

- (1) 鉄欠乏性貧血は術後早期に発生する。  
(2) 高張な食事の摂取と消化管壁の伸展は後期ダンピング症候群の発生に関係する。  
(3) 輸入脚症候群の予防として、結腸後経路で Billroth II 法の再建を行う場合、輸入脚を長くする。  
(4) ダンピング誘発試験で50%ブドウ糖を投与すると、症状発現時には血清 K 値は増加する。  
(5) 吻合部潰瘍の発生率は Billroth I 法より II 法で高い。

- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)  
c (1), (4), (5)    d (2), (3), (4)  
e (3), (4), (5)

11 幽門輪温存胃切除術で正しいのはどれか。

- (1) 術後胃内容停滞は幽門側胃切除術より起こりやすい。  
(2) Latarjet 枝を温存する必要がある。  
(3) 右胃動脈と右胃大網動脈は起始部で結紮・切離する。  
(4) 左胃動脈は起始部で結紮・切離して良い。  
(5) 遠位胃切離線は幽門輪より1.5cm 離す。

- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)  
c (1), (4), (5)    d (2), (3), (4)

- e (3), (4), (5)

12 48歳の男性。直腸癌 (Rs) に対して自律神経全温存低位前方切除術を行っていたが、上下腹神経叢分岐部直下に癌の浸潤が疑われたので両側下腹神経を骨盤神経叢の高さまで切除した。

術後機能に関して最も予想される状態はどれか。

- a 排尿、勃起、射精機能はいずれも障害されない。  
b 勃起、射精機能は保たれるが、排尿機能は障害される。  
c 排尿、勃起機能は保たれるが、射精機能は障害される。  
d 排尿機能は保たれるが、勃起、射精機能は障害される。  
e 排尿、勃起、射精機能いずれも障害される。

13 遺伝性非ポリポーシス大腸癌 (HNPCC) について誤っているのはどれか。

- (1) 平均診断年齢は大腸癌全体に比べ若い。  
(2) 大腸癌以外の癌の発生は少ない。  
(3) 右側結腸優位である。  
(4) APC 遺伝子の遺伝子異常とされている。  
(5) 女性の重複癌では卵巣癌が最も多い。

- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)  
d (3), (4)    e (4), (5)

14 炎症性腸疾患について正しいのはどれか。

- (1) 頻回の下痢、血便の潰瘍性大腸炎患者に抗コリン剤は使用しない。  
(2) 小腸型 Crohn 病にはサラゾスルファピリジンが有効である。  
(3) Crohn 病は上部消化管に病変を認めない。  
(4) 潰瘍性大腸炎に合併する癌は10年以上経過例に多い。  
(5) 腫瘤形成型の回盲部結核は手術適応である。

- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)  
c (1), (4), (5)    d (2), (3), (4)  
e (3), (4), (5)

15 胆管細胞癌について正しいのはどれか。

- (1) 原発性肝癌の数%を占める。  
(2) リンパ節転移の頻度は肝細胞癌とほぼ同様である。  
(3) 腫瘤形成型と転移性肝癌との鑑別は血管造影

で容易である。

- (4) 胆管内発育型は他と比べ予後は良い。  
(5) 肝細胞癌より腹膜播種性転移の率は高い。  
a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)  
c (1), (4), (5)    d (2), (3), (4)  
e (3), (4), (5)
- 16 63歳の男性。造影CT検査で写真1の様な所見が得られた。  
最も考えにくいのはどれか。  
a Angiomyolipoma  
b Hepatocellular carcinoma  
c Liver abscess  
d Hemangioma  
e Cystadenocarcinoma

17 46歳の男性。20歳頃から時々眼球的黄染に気付いていた。30歳頃から時々食後に心窩部痛があった。血液検査所見では赤血球 351万、白血球 7,700、血色素 12.1g/dl、血小板 12.5万、総ビリルビン 4.6mg/dl、間接ビリルビン 3.8mg/dl、アルカリフォスファターゼ 180単位（正常220以下）、赤血球浸透圧抵抗試験 0.65 (0.40-0.46)。腹部エックス線CT像(写真2)を示す。

適切なのはどれか。

- (1) 血中のハプトグロブリン値は低い。  
(2) 胆嚢結石は黒色胆石である。  
(3) 直接クームス試験が陽性である。  
(4) 保存的には大量の副腎皮質ホルモン療法が有効である。  
(5) 胆嚢摘出術と脾摘出術の適応がある。  
a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)  
c (1), (4), (5)    d (2), (3), (4)  
e (3), (4), (5)
- 18 誤っているのはどれか。  
a 膵胆管合流異常のうち、胆管の非拡張型では胆管癌の合併が多い。  
b 膵胆道造影にて15mm以上の共通管が確認されれば、膵胆管合流異常の可能性が高い。  
c 異所性膵は、胃、十二指腸に多く見られる。  
d 膵管癒合不全の診断は、主乳頭、副乳頭からの膵管造影が有用である。  
e 成人型の輪状膵は、十二指腸の狭窄程度が一般

に軽度である。

- 19 誤っている組合せはどれか。  
a 漿液性嚢胞腺腫——USで honeycomb sign  
b 粘液性嚢胞腺腫——造影CTで嚢胞壁の enhancement  
c solid cystic tumor——ERCPで主膵管閉塞  
d groove pancreatitis——十二指腸造影で下行脚上部の狭窄  
e 腫瘤形成性膵炎——USで penetrating duct sign
- 20 誤っている組合せはどれか。  
(1) WDHA 症候群——高K血症  
(2) グルカゴノーマ——壊死性遊走性紅斑  
(3) Zollinger-Ellison 症候群——MEN I型  
(4) インスリノーマ——MEN II型  
(5) ソマトスタチノーマ——高ガストリン血症  
a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)  
c (1), (4), (5)    d (2), (3), (4)  
e (3), (4), (5)

写真1 (問16)

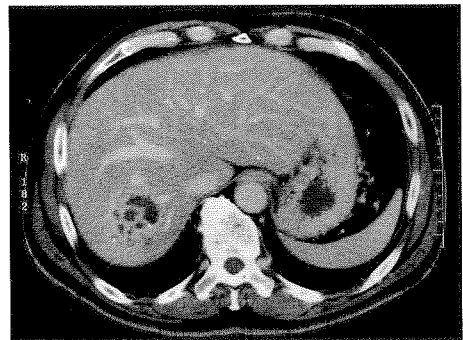


写真2 (問17)

